

意識高めそれぞれの
持ち場で運動推進を

大林道路中部支店

大林道路中部支店は14日、17年度安全衛生大会を名古屋市東区のメルパルク名古屋で開催した。写真。関係者約200人が参加し、一層の安全衛生活動推進を誓った。



小原信也常務執行役員支店長はあいさつで「安全衛生活動の推進は企業の社会的責務。安全意識をより高め、それぞれの持ち場で安全衛生運動を強力に推進してほしい」と呼び掛けた。

本社の瀧充薫常務執行役員は「本年度は中期経営5カ年計画の初年度。目標は毎年事故を10%減らすこと。積極的に研修・パトロールを実施し、強い気持ちを持って安全水準の向上に取り組んでほしい」とあいさつした。

安全表彰、安全講話、特別講演などがあり、安全宣言を行って、無事故無災害の達成へ決意を新たにした。